

第7期第2回 中地区公民館運営審議会 会議次第

令和元年12月9日(月) 午後1時30分～3時30分
会場 石山地区公民館 3階 第1集会室

1 開 会

2 議 事

(1) 平成30年度事業評価シートの委員意見について・・・資料1

(2) 令和元年度事業の中間報告について・・資料2-1, 資料2-2

(3) 令和2年度予算の策定状況について・・・・・・・・・・資料3

(4) 令和2年度事業に関する委員提案について・・・・・・・・・・資料4

3 その他

(1) 運営審議会正副議長会議について(11月30日時点で開催されず)

(2) 木戸公民館見学

(後半, 公用車2台に分乗し, 木戸公民館を見学します。その後石山地区公民館に戻ってから解散します。)

4 閉 会

平成 30 年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見

【全体を集約した意見（案）】

	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(案)	<p>幅広い年代を対象に事業を実施し、一定の成果を出している。これまで公民館を利用したことがない人に向けて講座を開催するなど、工夫も見られる。</p> <p>地域との連携事業が多数あり、地域に浸透した事業を評価する。双方にとってさらに有益な内容にしてほしい。</p> <p>人権講演会は、障がいや障がいのある人への理解を深め有意義だった。今後は大人と子どもと一緒に人権を学ぶような講座を企画できないだろうか。</p> <p>家庭の教育力向上を支援する事業は、子育て中の親の情報交換や交流の場であり、虐待予防の効果も期待できる。</p>	<p>継続事業を定番化できたことが、新規事業などに取り組める状況に繋がっている。人気のある新規講座をリピートすることで、参加者増につなげることができる。</p> <p>新規事業でうまくいかなかった講座があったようだが、創意工夫次第でうまくいくと思われる。</p> <p>既成概念にとらわれない切り口での企画、興味・関心をそそるネーミングが、効果を上げている。</p> <p>現状に甘んじることなく、公民館新規利用者の獲得を第一に考えてほしい。</p>	<p>「木戸っこクラブ」は、内容の工夫・周知活動が参加者増につながった。少ないながらもニーズがあるので、維持・継続を望む。</p> <p>中地区・石山地区公民館の活発な活動と比較すると事業が少なく寂しく感じる。</p> <p>「木戸地区音楽芸能文化祭」は軌道に乗っているが、次世代への引き継ぎが課題。</p>

委員	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(石井委員)	<p>華々しさはないものの地道な事業が実施されたと思います。</p> <p>特に、人権啓発委託事業の人権講演会は、企画も内容も有意義なものでした。</p> <p>このような企画を単発で終わらせることなく、小中学校の休暇期間に実施して、大人も子どもも一緒に人権を学ぶことはできないでしょうか。</p>	<p>地域コミュニティ活動の活性化支援として実施した多数の新規事業も大きな成果を上げたことは、当公民館が永年にわたってつけてきた底力によるものと思われま。</p> <p>特に、「若者行方不明3万人」については、テーマ、講師の選定ともに貴重な企画であり、ぜひ今後もこのような少し大きな社会問題も地域で考える場を提供してほしいと思いま。</p>	<p>木戸公民館の維持管理については、いろいろな意見があると思いますが、本年度も二つの事業が実施され、延べ567人の参加者があったということは、この「館」があったからこそであり、地域の中の人と人とを繋ぐ場として、ぜひ存続させてほしいと思います。</p>
(井上委員)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・保護者・青少年・高齢者と、全ての年代へのアプローチがあることは、評価される。 現代的課題としての、人権講演会は、障害・障害者理解を深める良い企画だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業や、コミ協等との連携事業が、より充実した内容で定番化し、新規事業・単発事業に取り組むことができたことは、評価される。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学社民の融合による地域の活性化支援」として、H30年度から、打合せ会議に公民館職員が出席し、協力することで、充実した事業になった。 「家庭教育 親子の居場所」では、内容の工夫・周知活動が評価される。
(遠見委員)	特になし	特になし	特になし
(高橋委員)	<p>公民館を利用したことのない人をターゲットにした講座がいくつかあり、工夫がみられた。初心者のリピーター利用を期待したい。また、初心者の講座を知った情報源を活用して、次の初心者確保を望みたい。そのための曜日、時間が重要であると思われる。</p> <p>子ども・子どもを持つ親・高齢者・その他幅</p>	<p>講座内容がバラエティーに富んでいて参加者にとっても興味深いところが素晴らしい。新しい講座の中で人気のある講座をリピートし、参加者を増やせるとよい。幅広い年代に合致する講座を工夫していると思われる。</p>	<p>「木戸地区音楽芸能文化祭」は軌道に乗ってきているので実行委員会に移行するのが望ましいが、次世代への引き継ぎが課題である。</p> <p>「木戸っ子くらぶ」はイベント化することにより、使用者の増加がみられ、今後も継続を期待する。</p>

	広い人の講座に取り組めたことに好評価されると感じる。		
(津野委員)	<p>ユースセミナーや親子のびのびの父親など、公民館との関わりが薄いところの層が参加する機会ができ、様々な気づきがあったことはとても良かったように思います。また私も参加しましたが、人権講演会では、パラリンピック代表の出来島選手からの障がい者スポーツの基調なお話や、聴覚障がい者の方のお話を聞いてこれまで知らなかった様々なことを知るととても良い機会だったと思います。いくつかの新しい企画も内容が良かったように思いますし、大形ぼてっ子サークルのように連続講座だったものがそれぞれ単独で申し込めるようにするなどの工夫もみられ、欠席率の改善が見られたことなどは評価できると思います。</p>	<p>定番の物もその中に新しいものを入れていたり、様々な企画、アイデアがいくつも見られマンネリ化しないような工夫が見られます。新しく企画した「キラキラ1年生」や「冬休み子ども体験」などは初回でうまくいかなかった部分はあったようですが創意工夫次第でうまくいく部分もあるのではないかと思います。毎年新しいアイデアで事業を行っていて、事業に参加する人がたくさんいることに地域性もあるとは思いますが、いつも感心しています。</p>	<p>老朽化の問題もあり、いろいろと考えなくてはならないとは思いますが、木戸っこらぶの参加利用者が2.5倍増とまだまだここを必要とする人たちがいることも事実。催しを行ったり周知活動をすることで成果がでたことは評価したい。</p>
(野本委員)	<p>各事業について、重点をおかれているキーワードをもとに、多くの事業を実施されていることにとっても驚きました。さらにご説明をきいたことで単なる思いつきなどではなく、議論を重ねて丁寧に内容を考えていることにとっても感心しました。つまり、それぞれのイベントについて、とても充実していたことを確認しました。また、きちんと来年度に向けてのこともお考えになられていることも良いと思いました。</p> <p>実施状況(最終報告)の配布資料のことです</p>	<p>中地区と同様、各事業について、重点をおかれているキーワードをもとに、多くの事業を実施されていることにとっても驚きました。ご説明をきいたことで単なる思いつきなどではなく、議論を重ねて丁寧に内容を考えていることにとっても感心しました。さらにどの事業も楽しそうだという外からも見えるような工夫がされていると感じました。つまり、それぞれのイベントについて、とても充実していたことを確認しました。また、きちんと来年度に向けてのことも</p>	<p>私が説明を聞き漏らしただけかもしれませんが、以下、素直な感想です。中地区・石山地区公民館の活発な活動とは正反対で少し寂しい事業内容に感じました。</p>

	<p>が、参加者数の欄では、最大募集人数も追加してくれると各イベントの状況がよりわかりやすくなると思いますので、ご検討ください。</p>	<p>お考えになられていることも良いと思いました。</p> <p>実施状況(最終報告)の配布資料のことですが、参加者数の欄では、最大募集人数も追加してくれると各イベントの状況がよりわかりやすくなると思いますので、ご検討ください。</p>	
<p>(藤井委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これほど多様な内容の活動をしていることを初めて知り、素晴らしいことだと思いました。 ・特に、重点3の「家庭の教育力向上」はとても大切に有意義であると思います。乳幼児期の子育て真っ最中の親にとってのよき情報交換や交流の場となっていることでしょう。このような場があることで、少しでも虐待等の痛ましい事件等の抑止力になっていることと思います。 ・重点3に対して、重点5「高齢者の学習・社会参加支援」の事業がやや少ない印象を受けました。25 の「この指とまれ」の活動が通年であるのはよいことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これほど多様な内容の活動をしていることを初めて知り、素晴らしいことだと思いました。 ・特に重点1「地域コミュニティ活動の活性化支援」に、魅力的な新規事業がたくさんあり、その精力的な姿勢に敬意を表します。 ・特に、重点3の「家庭の教育力向上」はとても大切に有意義であると思います。乳幼児期の子育て真っ最中の親にとってのよき情報交換や交流の場となっていることでしょう。このような場があることで、少しでも虐待等の痛ましい事件等の抑止力になっていることと思います。特に「りんごランド」「いちごランド」のネーミングがかわいくて親しみやすいと思いました。 ・重点3に対して、重点5「高齢者の学習・社会参加支援」の事業がやや少ない印象を受けました。35 の「遊わ塾」の活動はとても重要だと思います。 ・重点6現代的課題の3つの事業がとても魅 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の2つの公民館と比べると、事業が極端に少ないようですが、仕方ないのですね。

		力的です。38 はこれからはどんどんニーズが高まると思います。	
(村山委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な事業を年齢層・階層などのニーズにあわせて企画し、全般的に多くの参加者と満足度を得て一定の成果を出している。 ・地域コミュニティ活動については、公民館側と共催団体とで行事の企画段階からアイデアを出し合い、双方にとってさらに有益な内容にしてほしい。 ・文化祭は定期使用団体の活動成果発表の機会として、また地域交流の場として創意工夫をしながら、ますます発展して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初計画を上回る多くの事業を時代・世代の価値観の変化を把握しながら精力的に実施している。反面、これほど多くの事業を行った場合、限られた職員数では負担感がどうなのか心配になる。 ・個別の事業については、既成概念にとられない切り口・アイデアで企画し、参加者が興味・関心を持つ独創的なネーミングで募集し、効果を上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最大のイベントである三世代交流木戸地域音楽芸能祭は、実行委員会が精力的に実施しており、今後もますますの発展が期待される。
(安原委員)	<p>まず、近代史講座の一回目を終えた段階で、山の下地域の特性を強く感じました。同じ講座を石山地区公民館で行えば、募集人数を大幅に超えるでしょう。しかし、古い地域の山の下近辺では、好奇心が基本的に希薄であり、活気に乏しいようです。其処を基本に踏まえて企画を立てることが大事だろうと思います。そして中地区公民館のこの地域は、子供を特に大事にしていると感じます。子供とお年寄りとのコミュニケーションがうまく取れているようです。そんなところを基本にして企画すれば良いのかなと考えます。ただし、子育てに祖</p>	<p>石山地区公民館協議会会長を十年間担った経験と、いま中地区公民館協議会会員として思うことは、石山地区公民館会員の活気です。新興住宅街として生まれた石山地区は、ある日忽然として誕生した住宅街です。勤め人が100%と言って良いほどの住宅地、ほぼ同じ価値観を共有する地域と言って間違いありません。そのことが50年経っても、100年経っても地域性として連綿と繋がっていくのです。だから、事業を企画するのに苦労は要らないのです。無料講座には、沢山人が集まり賑やかになるのです。でも、一人の会員は、幾つもの</p>	<p>昨年と同じです。公民館ではなく、ただの古家です。早々に無くしてください。</p>

	<p>父祖母を巻きこむのは反対です。子育ては親が責任を持ってしなければならない一生涯の役割です。安易に年寄りが参加しても、良いことなどありません。保護者責任を放棄することになります。近頃多くみられる子供虐待をどうすればよいのでしょうか。公民館の役割では無いのかもしれませんが、何かの役に立ちたいと思います。人間として誰もが色々なことに興味を持って、様々なことに参加することが生き甲斐をもたらすことです。そのことで活性化して行きたいと思います。</p>	<p>サークルを掛け持ちしています。四つ五つと掛け持ちしている人は多いはずです。つまり、サークル会員数と実質的に石山地区公民館に出入りする人数には、大きな差異があるのです。一人の会員がある事情でサークルを退会すると、全体で4、5人の会員が減少することになるのです。こんな状況も頭に入れながら、どれだけ「公民館デビュー」をさせられるかを第一に考えてほしいと思います。</p>	
(八幡委員)	<p>子どもから大人まで大勢が公民館の利用をしているように思う。とかく公民館は大人(60歳以上)の方々の利用になりがちだが、地区の協議会、未就園児、小学校、中学校との連携事業が多数あり地域に浸透した事業を評価します。ただ、未就園児は集団生活の第一歩になるので、この時期から上下関係を持たないような配慮を望みます。「法務省委託事業(平成30年度人権啓発活動地方委託事業「障がいがあってもなくても支え合えばみんな一緒！障がい者に関する人権を考えよう☆共に生きるまちづくり人権講演会」は人権問題に関心を持つ良い事業だと思います。</p>	<p>地区の学校、協議会と連携して地域に浸透している事業がたくさんみられ、子どもから大人まで大勢が公民館の利用をしているように思う。「若者行方不明 3万人」は、講師・演題ともに地域を超えた大きな計画を評価します。また、「『すごぼり』の桜並木を歩こう」は、1年に1回ですが来年を楽しみに持てる事業だと思います。</p>	<p>毎年、事業を継続することは大変なことですが、参加している方々は嬉しいことだと思います。参加人数の多少にかかわらずこのままの継続を希望します。</p>

令和元年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-1

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座「ハザードマップを活用～自然災害から命を守る～」	・ハザードマップを学び、住む地域の危険を認識する。・自分の命や大切な人、地域の人を守るために何が必要か、どんな行動をとったらよいかを学ぶ。・地域の防災活動等に積極的にに関わり、主体的に動ける人になる。ひいては地域を思い地域のために自ら活動できる人材を育成する。山の下中学校区の住民を対象に11月23日に開催予定。	総合	11月					1	午後	○		○		山の下地区コミュニティ協議会 東区総務課 山の下中学校	
	2	山の下中学校防災教育【新規事業】	山の下中学校が実施する2学年対象の防災教育に協力し、防災食の体験コーナー運営、生徒の防災意識を高めるとともに、地域の一員として地域で活躍できる素地を養った。	少年	11月	1	午後	126	126			○	○			山の下中学校 東区総務課 ヘルスメイト山の下	
	3	コミュニティ協議会等との共催事業「夏まっさかりフェスタ」・「冬まっさかりフェスタ」	地域住民の多世代交流および山の下まちづくりセンターの認知度アップを目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、夏まつりを開催した。冬まっさかりフェスタは2月にうどん打ちを企画中。	総合	7月・2月	1	午後	156	156	1	午前			○		山の下・桃山コミュニティ協議会 山の下まちづくりセンター	
	4	コミュニティ協議会等との共催事業 下山地区郷土史講演会「古阿賀野川の川筋と松ヶ崎掘割決壊による影響」【新規事業】	下山地区郷土史編纂委員会が編纂した下山地区郷土史をもとに、地域の歴史講演会を開催した。	成人	5月	1	午後	69	69					○		下山地区コミュニティ協議会	
	5	コミュニティ協議会等との共催事業 下山地区夏休み映画鑑賞会【新規事業】	下山地区コミュニティ協議会と共催し、地域の子どもや大人を対象に交通安全・情操教育等よりよい地域づくりに寄与する映画を上映した。	総合	7月	1	午後	50	50					○		下山地区コミュニティ協議会	
	6	アクティブシニア講座「楽しい健康太極拳入門」	人生を楽しく豊かに過ごすため、さまざまな趣味にチャレンジする。いつでもどこでもでき、健康づくりに役立つ、太極拳の入門講座を開催予定。	成人	1月・2月					4	午前						
	7	ユースセミナー	若者対象事業。地域で働く方の話を体験を交えながら聞くことで、参加者自身の視野や可能性を広げる。	成人	中止												
	8	地域のたから再発見事業 新潟の近代史講座「新潟市の学校の変遷」・「山の下あたりとみなとの歴史」	運営審議会委員と連携し、参加者が地域への関心を高め理解を深める内容の講座を実施する。5・6月に2回連続で「新潟の近代史講座」、9月に「山の下あたりとみなとの歴史」を開催した。	成人	5・6月、9月	3	午後	85	103						○	中地区公民館運営審議会委員	
	9	地域のたから再発見事業 「山の下今昔☆まあるき」・「山の下・桃山の昔のはなし」	地域学習サークル「中地区地域楽」等と連携し、参加者が地域への関心を高め理解を深める内容の講座を実施した。6月に「山の下☆今昔まあるき」を開催した。他に小学生向けの「山の下・桃山の昔のはなし」を開催予定。	総合	6月・12月	1	午前・午後	10	10	1	午後			○		中地区地域楽 桃山小学校	
						毎回募集	毎回募集										
2. 学・社・民の融合	10	サークル活動でふれ合おう(桃山小学校総合体験学習)	桃山小学校3年生の総合学習として、公民館見学やサークル活動への参加を通じて児童と地域の人々とのふれ合いを深めることを目的に実施。6月5日・6月26日・7月3日・7月10日に実施。手話・茶道・生け花・将棋・卓球サークルと桃山小学校3年生がサークル体験を通じて交流した。	総合	6月～7月	4	午前	148	555				○	○	桃山小学校 中地区公民館使用団体 連絡協議会		
						連続講座											
3. 家庭の教育力向上	11	乳児期家庭教育学級(第2期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催した。	成人	6月～7月	6	午前	8	42			○				東区健康福祉課 山の下図書館	
	12	幼児期家庭教育学級「Happy Family」	家庭教育の重要性や幼児期の子どもと心身の発達を学び、子育ての不安や悩みを話し合える仲間づくりを通して、今後の子育てや生活をより豊かに充実したものとするを目的に開催した。より良いコミュニケーションの方法、子どもの権利、家庭での子どもへの関わり方、金融教育、仲間づくりなどの学習会を実施した。	成人	5月～6月	5	午前	34	142							企画・実行委員4人	
	13	幼児期家庭教育学級「親子のびのび広場」	幼児の保護者の学びと交流の場として、また子どもの成長の場として、親子あそびを実施。父親が参加しやすいよう土曜日に開催し、子育てへの参画を促す機会とする。	総合	1月					2	午前						
	14	小学生期家庭教育学級「めざせ親力UP!～今日から変わる!4つのヒント～」	子どもを持つ親として必要な知識や心構えを学ぶとともに、子どもが自分らしく健全に成長できるよう、親としてどう関わればよいか考える機会とする。親としての子育ての軸を持つこと、子どもの考える力の必要性を知り、家庭でできる関わり方、子どもの心と身体の育ち、子どもの自立を促す親の関わり方を学ぶ機会とする。	成人	11月	2	午前	31	51	2	午前			○		企画委員4人	
	15	保育者連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催した。	成人	4月	1	午前	7	7								
	16	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施。	総合	4月～3月	30	午前	7.5	225	18	午前	○		○		東区健康福祉課 山の下図書館 活動協力員	
							自由参加										
17	子育てサロン「ひだまり」スペシャル「マザーズハローワークへようこそ」人形劇すてきなカレーラーメン	子育てサロン「ひだまり」を周知するために、単発のイベントを開催。9月6日に再就職のためのミニ講座「マザーズハローワークへようこそ」10月18日に「人形劇すてきなカレーラーメン」を実施した。	総合	9月・10月	2	午前	51	51	0				○		人形劇サークル「みっくすじゅうす」 ハローワーク新潟マザーズハローワーク		

令和元年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-1

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
	18	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」	ボランティアサポーターや大形地区の民生委員の協力により、大形まちづくりセンターを会場に、未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供する。	総合	4～3月	24	午前	平均 3.7	88	14	午前					大形民生委員
	19	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」スペシャル「わいわい元気！七夕運動会」「親子で楽しむクリスマスコンサート」	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」を周知するために、単発のイベントを開催。7月4日に「わいわい元気！七夕運動会」を実施した。12月19日には親子で楽しむクリスマスコンサートでハンドベルを聞いたり一緒に歌うミニコンサートを開催予定。	総合	7月・12月	1	午前	24	24	1	午前					大形民生委員 学生ボランティア
	20	おはよう朝ごはん料理講習会	早寝早起き朝ごはん運動の推進を目的に、親子を対象に栄養バランスを考えたメニューの調理実習を開催した。11月2日に大形地区で、11月10日に桃山地区で実施した。	総合	11月	2	午前	48	48							桃山小学校区コミュニティ協議会 大形小学校区コミュニティ協議会
4. 青少年の生きる力育成	21	ジュニア将棋教室	日本文化としての将棋を学ぶとともに、基本的な礼儀や社会的なルールを身につけることを目的に、連続講座を開催中。	少年	4月～3月	11	午前	36	179	8	午前					新潟市将棋普及協議会 学生ボランティア(新潟大学将棋部)
	22	少年体験事業「きらきらチャレンジ」	体験活動を通して、自ら考え取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。7月29日は「くるくるまわる不思議モーターを作ろう!」、8月19日は「のぞいてみよう市場の世界とブーケ作り」を各回募集で実施した。12月24日は「めざせけん玉の達人!」を実施予定。	少年	7月・8月・12月	2	午前	平均 23	46	1	午前					
	23	子ども学習会	①定時に公民館に通うことで、長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける。②学校から出された宿題をやりきること、休暇終了後に自信を持って学校に行けるようにする。夏季は6日間、山の下小・桃山小4・5・6年生を対象に実施した。冬季は4日間、同小学校4・5・6年生あてに募集予定。	少年	8月・12月	6	午前	20	160	4	午前					新潟県生涯学習推進協会
	24	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	学校や家庭以外に、子どもたちが安心できる「居場所」を設ける。また地域の大人と子どもがふれあえる場とする。	少年	4月～3月	221	午前・午後・夜間	平均 15.9	3,509	126	午前・午後・夜間					
	25	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。	少年	4月～3月	100	午前・午後・夜間	平均 1.7	169	51	午前・午後・夜間					
	26	少年体験事業「大形ほてっ子サークル～夏の面白体験学習～」	学校の夏休み期間中に異学校・異年齢の児童とともに、学校や家庭ではできないような体験活動を実施し、参加者である児童に心の豊かさや社会性を育む。各回募集で「大型スクリーンでみんなでみよう!」「味噌づくりに挑戦!」「おえかき缶バッジを作ろう!」「空気と熱の力を実感する面白実験アラカルト」を実施した。	少年	7月～8月	4	午前・午後	平均 15.3	61							学生ボランティア
5. 高齢者の学習・社会参加支援	27	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、交流の輪を広げること、個人の経験や能力を生かし、生きがいを持って生活できることを目的に開催。公民館版の「地域の茶の間」。お花見、歌謡喫茶、バスツアー、健康講座、落語、文化祭出店を実施済み。	高齢者	4月～3月	16	午前	平均 16.4	262	9	午前					活動協力員 地域包括支援センター 山の下 新潟医療福祉大学
6. 現代的課題	28	東区子育てサロンボランティアスタッフ研修会「こんなサロンだったらいいな～みんなでこれからの子育てサロンを考えてみよう!」	東区内で子育てサロンの支援に関わるボランティアスタッフの資質向上を図る。ボランティアとしてサロンを利用する親子にどう向き合い、寄り添うかを学ぶとともに、各サロンのスタッフの交流を図る目的で開催する。11月26日、12月3日の2回連続講座。	成人	11月・12月					2	午前					石山地区公民館と共催
7. その他	29	文化祭	公民館の定期使用団体(サークル)の作品展示、音楽芸能活動の発表会。10月20日の音楽芸能カラオケ発表会は489人が参加、11月2日3日の作品展示・写真展は458人が参加。11月9日の社交ダンスパーティーは40人が参加。	総合	10～11月	4	午前・午後・夜間	987	987							中地区公民館使用団体 連絡協議会
	30	定期使用団体研修会	公民館利用についての意見交換会と次年度の定期利用の説明会を開催。11月9日に開催した。	成人	11月	1	午後	64	64							中地区公民館使用団体 連絡協議会
	31	夏休み16ミリ映画鑑賞会	夏休みにふさわしい映画鑑賞を通じ、大人も子どもも情緒豊かに過ごせるような映写を行う。「ミキマウスのゆかいな船長さん」「ラーメン天使」「さるむこどん」「赤いカラスと幽霊船」を上映した。サークル「忘れな草」による昔語りを聞いた。	総合	7月	1	午前	24	24							運営審議会委員
	32	冬休み映画鑑賞会「冬休み!ミニ映画まつり!」	子どもも大人も対象に情緒を豊かにする目的で実施予定。午前は主に親子・子ども向けの映画「チップとデールの冬支度」「ブルーのクリスマスツリー」「日本の昔話十二支のはなし」「山古志村のマリと三匹の子犬」、午後は主に成人・高齢者を対象にした映画「クリスマス・キャロル」の鑑賞会を12月22日に実施予定。	総合	12月					2	午前・午後					
	33	サークル体験学習会	公民館の定期使用団体(サークル)の活動の活性化のため、強化月間を設けてサークル体験会を開催し、新規会員の募集を行う。	総合	3月					60	午前・午後・夜間					中地区公民館使用団体 連絡協議会
34	自主グループ育成事業	公民館の定期使用団体(サークル)の新規会員募集を支援するため、サークル体験会の実施について広報や助言等を行う。	総合	随時	12	午前・午後	平均 1.1	13							中地区公民館使用団体 連絡協議会	
合計						463		2,063	7,221	307						

令和元年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-2

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	お互いさまネット石山	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、地域を中心にした支え合いのまちづくりを目指した。	総合	5～6月	3 連続講座	午後	101	153	—	—					石山管内4コミュニティ協議会(中野山・東中野山・南中野山・江南小学校区コミ協)
	2	ファインダーのこっち側	写真や動画作品の鑑賞を通じて、自然や地域、そして人とのコミュニケーションの素晴らしさを学んでもらおうと開催した。	総合	11月	1	夜間	34	34	—	—					
	3	ご近所だんぎ	地域課題をテーマとして取り上げ、学習・話し合いを行うことで、地域で支えあうまちづくりについて考えるきっかけとする。	総合	4月～3月(9・12・2月除く)	6 自由参加	午後	221	221	3	午後	○			○	ご近所だんぎ世話人(東区地域住民)、市民生活課、食育花育センター
	4	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、すごぼりの桜並木の散策・ゴミ拾いを通じて、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どものおとなの交流及び環境美化意識を深める機会とした。	総合	4月	1 自由参加	午前	200	200	—	—	○	○			南中野山小学校区コミュニティ協議会、同校PTA、東区社会福祉協議会
	5	親子で笹団子づくり	郷土料理である笹団子の調理を通して、地域の子どものおとな、また子ども同士、おとな同士が交流し合う機会とした。	総合	6月	1	午前	40	40	—	—	○	○			南中野山小学校区コミュニティ協議会
	6	石山地区芸能まつり	公民館利用団体等の音楽・芸能団体が実行委員会を組織し、開催する芸能まつり。日頃の学習の成果を発表することによる地域住民への文化の還元、地域の活性化につなげることを目的に開催した。	総合	5月	1 自由参加	午後	164	164	—	—				○	石山地区芸能まつり実行委員会
	7	心に響く冬のコンサート	公民館利用団体等の音楽活動団体で実行委員会を組織し、開催するコンサート。日頃の学習の成果を発表することで、地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	12月	—	—	—	—	1 自由参加	午後					心に響く冬のコンサート実行委員会
	8	ペットと防災 【新規事業】	災害時、飼い主とペットがともに安全に避難出来、安心して過ごすための日頃からの心構えと備えについて学んだ。	総合	6月	1	午後	33	33	—	—	○				動物愛護センター、動物愛護推進員
	9	子どもを育む地域づくり 【新規事業】	子どもの健全育成を促すため、地域はどうあるべきかを考えるきっかけとする。	総合	未定	—	—	—	—	1	未定					
	10	ドライフラワーでボードアート 【新規事業】	子どもたちの豊かな心を育み交流できる機会とし、完成した作品を文化祭で展示し地域のみなさんに鑑賞してもらった。(ドライフラワーで壁飾り作り)	少年	9月	1	午後	13	13	—	—					
	11	お花でアート 【新規事業】	文化祭来訪者や参加利用団体の相互交流。体験から学ぶ機会を提供した。(ミニリース作り)	総合	10月	1 自由参加	午前	40	40	—	—					
	12	手形でアート 【新規事業】	文化祭来訪者や参加利用団体の相互交流。体験から学ぶ機会を提供した。(手がたスタンプでアート作品を作成)	総合	10月	1 自由参加	午前・午後	50	50	—	—					
	13	どうぶつしょうぎ教室 【新規事業】	遊びを通じての異学校・異学年交流促進を目的に開催した。また、文化祭期間中に開催することで、若い世代にも公民館活動を周知する機会とした。	少年	10月	1	午前	27	27	—	—					
	14	歌声喫茶ishiyama 【新規事業】	文化祭来訪者や参加利用団体の相互交流。参加者がともに音楽を楽しんだ。	総合	10月	1 自由参加	午後	40	40	—	—					
2. 学・社・民の融合による人づくり・地域づくり	15	ふれあいスクール公民館出前型	学校と公民館、地域住民が協働で、小学校文化祭時に茶室を運営。地域と学校、そして地域住民間での交流やふれあいの場を創出。	成人	10月	1	午前	40	40	—	—	○			○	東中野山小学校、学校支援ボランティア、公民館利用団体等
	16	学・社・民融合の学校出前講座「夏休みものづくり」	学校を会場に、公民館と学校、地域住民が協働し、工作等の地域の達人が小学生に教えることで交流をはかった。※竹とんぼ・ペットボトル風鈴・ストラップづくり。	少年	8月	1	午前	16	16	—	—	○			○	東中野山小学校、学校支援ボランティア
	17	ポプリ作り講習会	ポプリ作りを学びながら、石山中学校生徒と地域住民の交流を支援する。	総合	7月	—	—	—	—	—	—	○			○	石山中学校、活動協力員
3. 家庭の教育力向上	18	乳児期家庭教育学級(第1期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催した。	成人	5月～6月	5 連続講座	午前	24	107	—	—	○				石山地域保健福祉センター
	19	乳児期家庭教育学級(第3期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催した。	成人	10月	5 連続講座	午前	21	81	—	—	○				石山地域保健福祉センター
	20	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催している。	成人	11月	2 連続講座	午前	24	24	3	午前				○	
	21	子育てサロン「りんごランド」	子育て中の保護者の情報交換や仲間づくりを目的とし、0歳からの未就園児の親子の遊び場を提供する。また地域での子育てを支援するボランティアスタッフを育てる。(毎月第3金曜)	総合	4月～3月	9 自由参加	午前	110	110	4	午前	○			○	石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ
	22	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。(毎月第1・3月曜)	総合	4月～3月	11 自由参加	午前	172	172	9	午前				○	ぐりとぐら、石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ
	23	おはよう朝ごはん料理講習会	地域住民や子どもたちを対象に、栄養バランスを考えた料理講習会を開催し、早寝早起き朝ごはん運動を推進する。江南(27人)、牡丹山(39人)	総合	8月・11月	2 毎回募集	午前	66	66	1	午前	○	○			江南小学校区コミュニティ協議会、牡丹山小学校区コミュニティ協議会、木戸地域コミュニティ協議会

令和元年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-2

石山地区公民館																	
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
4. 青少年の生きる育成	24	石山あそび隊 (夏休み期間中に開催)	工作や調理などの体験活動を通じて、子どもの豊かな心を育むため開催した。※「手描き染」(28人)「吹き矢」(16人)「スティックミノ」(15人)「芝ぼうや作り」(18人)	少年	7～8月	4 毎回募集	午前・午後	77	77	—	—					○	活動協力員
	25	冬休み子ども体験 「キラキラの星あかり」	体験活動を通して子どもたちの豊かな心をはぐくみ、交流できる機会とする。(粘土を使ったライト作り)	少年	12月	—	—	—	—	1	午前					○	活動協力員
	26	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を、子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」とし、交流のできる場とする。	総合	通年	222 自由参加	午前・午後・夜間	3,408	3408	126 自由参加	午前・午後・夜間						
	27	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援をはかる。	少年	通年	193 自由参加	午前・午後・夜間	426	426	126 自由参加	午前・午後・夜間						
5. 高齢者の学習・社会参加支援	28	アクティブシニア	シニア世代の生活に役立つ知識(健康づくり・生きがい等)を習得するための講座を開催する。	高齢者	—	—	—	—	—	1	未定						
6. 現代的課題	29	働き女子の美活いろは塾	働く女性が仕事や日常で役立つ知識を得るとともに、職場以外の人間関係を築く。	成人	10～11月	3 連続講座	夜間	23	63	1	—						
	30	楽しく健康・やさしい体操 【新規事業】	生活習慣予防やロコモ予防のための継続可能な軽運動の推進と生きがい・ネットワークづくりの支援を図った。	成人	6月～7月	3 連続講座	午後	30	56	—	—	○					石山地域保健福祉センター、運動普及推進員
	31	人権講座「今、私にできること」 【新規事業】	全ての人が尊重され、お互いの大切さを認めあうために、人権に関する学習機会を提供する。	成人	11・12月	2 連続講座	午前	—	—	3	午前					○	
	32	シニア動物との暮らしの秘訣 【新規事業】	終生飼養、老化防止、動物に介護が必要になっても、飼い主も動物も幸せに暮らせるよう何が出来るのかを学んだ。	成人	10月	1	午後	25	25	—	—	○					動物愛護センター、動物愛護推進員
	33	師走の落語会 【新規事業】	引き籠りがちな地域の高齢者等の外出のきっかけづくりを目的とした落語会。	成人	12月	—	—	—	—	1	午後						
	34	令和と万葉集に詠まれた花 【新規事業】	花を題材に詠まれた万葉集のうたを学ぶことを通じ、新元号「令和」の背景を知る。	成人	12月	—	—	—	—	1	午前						
7. その他	35	公民館へいってみよう!	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体の活性化を目的に、希望団体を募り体験会を開催した。	総合	7月	47	午前・午後・夜間	654	654	—	—					○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	36	公民館利用団体連絡協議会主催事業	公民館利用団体連絡協議会に加盟している団体および地域住民を対象に、笑いや歌、健康学習などを通じて健康寿命延伸に寄与できる事業を開催した。※「笑いヨガ」「落語」「健康と生きがい講演会」「歌声会」の4事業	総合	7・10・11月	4 自由参加	午前	169	169	—	—					○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	37	第40回文化祭	定期利用団体の作品展示や音楽芸能の発表会を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元もはかった。	総合	10月	1 自由参加	午前・午後・夜間	900	900	—	—					○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	38	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深めた。	総合	7月～8月	5	午前・午後	309	309	—	—					○	石山地区野球連盟
	39	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援をはかる。 ※11月15日現在、4団体が体験会を開催し、参加者数は20人	総合	随時	15	午前・午後	利用団体から利用報告書で報告される利用者数に計上されているため、事業参加者として計上せず								○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
合計						554		7,457	7,718	282							

東区公民館 R2年度予算案概要

【歳入】

(単位:千円)

区分	館別	R1 ①	R2 ②	増減②-①		備考
				金額	(%)	
使用料	東区計	2,299	作業日程・方針未定			%
	中	1,093				%
	石山	1,093				%
	木戸	113				%
雑入	東区計	370				%
	中	175				%
	石山	195				%

【歳出】

(単位:千円)

区分	館別	R1 当初 ③	R2 当初 ④	増減④-③		備考
				金額	(%)	
維持 管理費	東区計	9,281	作業日程・方針未定			%
	中	3,799				%
	石山	5,482				%
事業費	東区計	1,993				%
	中	991				%
	石山	1,002				%

令和2年度事業に関する委員提案

(石井委員)	
事業名 (仮称)	ジェンダーってなに？
内容	ジェンダーの問題を，日常生活の中から拾い上げ，身近な問題として考え学習する。 講義，グループワークだけでなく，学んだことを地域に何らかの形で還元できるとなおよい。
目的・趣旨	ジェンダー問題は，現代的課題の重要な一つでありながら，言葉のとっつきにくさからなかなか正面から取り上げられることは少ない。 しかし，これからの時代には，家庭，学校，職場，地域でもきちんとした問題意識を持って取り組んでいかなければならない課題であると思われる。
その他補足説明	たとえ1回の参加者が少なくても，地道に何年間か継続していけば，参加者だけでなく，参加者の家族や周囲の人々へと広がり，地域の社会的成熟に貢献できると考える。 なお，「ジェンダー」ということばを使用しないでも，基本的な視点として他の事業や企画への導入も検討されたい。
公民館から	家庭教育学級等で，ジェンダーの視点を入れた学習機会を提供できるよう検討します。

(井上委員)	
事業名 (仮称)	パパ・ママカフェ～こどもはみんな 宝物
内容	「子ども理解」 ・子どものサイン～ 言葉で上手く表現できない時期の子ども理解のポイントを知ろう。 ・ママ友・パパ友との交流のなかで，日々の子育ての大変さ・大切さを語ろう。
目的・趣旨	・子ども一人ひとりが，どの子も元気で明日に向かって，生きて欲しいと願います。 ・現実を見ると，虐待や，イジメなど，子どもにとって，つらく苦しい現実があります。 ・子どもの現実を知り，子どもの思いをいかに感じ，理解するかを学ぶ。 ・子育てが，困った時，苦しくなった時，どうしたらよいか！！みつけましょう！
公民館から	家庭教育学級等の企画に，ご提案の趣旨を活かしたいと思います。

(遠見委員)	
事業名(仮称)	子ども向け料理教室
内容	小学生から高校生まで、カレーやピザなど簡単な料理を作って食べてもらう。
目的・趣旨	子ども食堂に本当に困っている子どもは来れないでいる現実があります。材料費100円程度で実現できればいいかな。
その他補足説明	保護課との連携も必要かもしれません。
公民館から	東区保護課主催の子ども学習会との連携を検討します。

(遠見委員)	
事業名(仮称)	ゆりかご学級の出前
内容	各自治会の集会所などでゆりかご学級を行う。
目的・趣旨	0才児の親も、近ければ参加し易くなるし、何よりも町内での仲間づくりができる。同じ町内でも出会いがない。
その他補足説明	公民館が主催することで、公民館への親しみが増し利用率の向上につながる。
公民館から	現段階では、ゆりかご学級の募集に対し、定員割れが出る状況です。ゆりかご学級の開催場所を今よりも細分化して実施することは難しいと考えます。

(高橋委員)	
事業名(仮称)	
内容	①コーヒー、アイスコーヒー、紅茶、ハーブ、アロマ ②道端の草花の名前や利用(食用か薬用かなど) ③美容(マッサージ、化粧、ハンドマッサージなど)
目的・趣旨	様々な分野で、参加者の幅広い人をターゲットにしたい。身近なことで参加しやすいこと。
その他補足説明	単講座で、曜日、時間を変えて同じ講座を何度かする。
公民館から	ご提案にあるような趣味講座、人生を楽しむための講座を実施したいと思います。

(津野委員)	
事業名(仮称)	やってみようボッチャ!!(パラリンピック競技)
内容	パラリンピックの競技であるボッチャを体験してみる。
目的・趣旨	・来年の東京オリンピック・パラリンピックに興味・関心がある方は多いと思う。 ・その中でボッチャを選んだのは大人・小人・障がいあるなしに関

	わらず参加できること。体力に自信はなくてもできること，ユニバーサルスポーツであること。様々な人が一緒に参加して，レクリエーションやコミュニケーションをすることができる。
公民館から	実施に向けて検討します。

(野本委員)	
事業名 (仮称)	「こどもと高齢者を結ぶ活動」
目的・趣旨	<p>高齢者に参加してもらえよう事業は，平成 30 年度事業を拝見して，十分に理解しています。</p> <p>しかし，自分もそうなのですが，引きこもりがちで催し物関連があっても参加を控えてしまうことがあります。一般的に男性高齢者は女性と比較すると催し物などの参加率が低いと思います。今後の事業では，ある意味で引きこもっている高齢者をターゲットに催し物などに参加（外へ引張り出すなど）を促すような工夫を是非，考えていただきたいです。</p> <p>具体的な提案が思いつきませんが，例えば，こどもとの触れ合いは，とても疲れますが，その分，とても楽しく感じるものがたくさんあります。こども自身も高齢者との触れ合いの中で学校では学べない知識などが得られると思います。</p>
公民館から	様々な参加しやすい事業を計画します。また今後も，コミ協などが主催する地域の世代間交流事業の支援も継続・充実させたいと考えます。

(野本委員)	
事業名 (仮称)	「東区に住んでいなければ受けない恩恵」
目的・趣旨	<p>毎年，公民館同士での意見交換があり，良いものを受け入れているというお話があったのですが，日本全国の公民館の内容はお調べになっていますでしょうか（調査済みでしたらすみません）。事業評価にコメントした通り，どの事業に対して感心しているのですが，新潟市東区に住んでいなければ得ることができない恩恵（体験など）を含んだ事業があってほしいと思いました。もし，予算があるのであれば，比較的参加者が少ないと思われる催し物には，プレゼントのようなものを贈る，などなど。もちろん「参加してよかった」と思うことは，物をもらうだけではありませんが，一例として。</p>
公民館から	<p>新潟市外の公民館の活動情報は，公民館大会への参加や，「月刊公民館」「社会教育」等の雑誌で得ることが多いです。</p> <p>東区の地域の特性を学ぶことで，地域への愛着が増すと考えます。東区地域課等と連携し，東区のことを取り上げた事業を検討します。</p>

(藤井委員)	
事業名 (仮称)	SNSとの付き合い方
内容	現代的課題として、SNSの現状や活用法、技術面での講習、大切なマナー、被害に遭わないための心得等を講習する。 小・中学生の部と 高校生・一般の部の2つあるとよい。
公民館から	小・中学生や高校生本人に関しては、学校やPTA活動で網羅的に教育や啓発がされています。公民館としては、保護者や一般の人を対象に事業を検討します。 小学生期家庭教育学級等の企画に、ご提案の内容を活かしたいと思います。

(村山委員)	
事業名 (仮称)	東区管内の名所・史跡の案内板設置とガイドマップの作成
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中地区公民館が東区役所と連携して、東区管内の名所・史跡の発掘、調査を行う。 ・実行委員会を組織し、東区内のコミュニティ協議会や各歴史の会から構成メンバーに参加してもらう。 ・実行委員会で具体的な計画を作り、各地区の名所・史跡のリストアップ、役割分担、案内板説明文の作成ならびにガイドマップの作成を行う。
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区、北地区などの新潟市域では、名所・史跡の案内板が現地に設置され、歴史や見どころなどの説明がされている。 ・しかし、東区管内においては、これらの案内板がほとんど設置されていない。もともと東区は名所・史跡が少ない状況にあるが、新たに発掘・調査を行って案内板を設置し、併せてガイドマップを作成して、郷土愛の啓発や観光開発につなげたい。
その他補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・東区の次年度事業として取り上げてもらい、予算措置をしてもらう。 ・実質的には各地区の歴史の会が実働部隊として、事業活動の中心になる。
公民館から	案内板・ガイドマップ作成のご提案を、東区地域課に伝えます。また、東区地域課と共催で、東区の理解を深める学習機会の提供を検討します。

(安原委員)	
事業名 (仮称)	「2020東京パラリンピック競技を体験しよう!!」3回講座 5月・6月頃実施
内容	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、市民レベルで盛り上げることが大事ではないかと考えます。オリンピック競技を体験するのは無理なので、パラリンピック正式競技の「公式ボッチャ」と「簡易ルールボッチャ」の両方を県か市の協力を仰ぎ体験してもらおうというものです。合計3回位実施できるとこの後も、ボッチャに関心を持ってもらえるのでは考えています。
目的・趣旨	パラリンピックは、全体的な盛り上がりには課題があると考えます。少しでも盛り上げることが国にとって大事なことです。そこで、最近関わっている「ボッチャ」に関心を持ってもらう為実際に「正式ボッチャ」を体験し、比較的实现容易な「簡易ボッチャ」も体験してもらうことにより「正式ボッチャ」への関心を高めようと考えます。
その他補足説明	公式ボッチャのコートは、12メートル×5メートル以上となるので、広い会場が必要です。そして、少し慣れた人がいないと上手く進行できないと思うので、新潟県、新潟市などの公的支援が必要かなと思います。
公民館から	実施に向けて検討します。

(八幡委員)	
事業名 (仮称)	郷土の料理教室
内容	ちまき、かきのもと、のっぺ煮などの調理実習と試食
目的・趣旨	転勤で新潟に来た人、今まで作ったことのない人、男性でも作ってみたい人等に新潟の味を知ってもらう。
公民館から	検討します。

木戸公民館の管理状況について

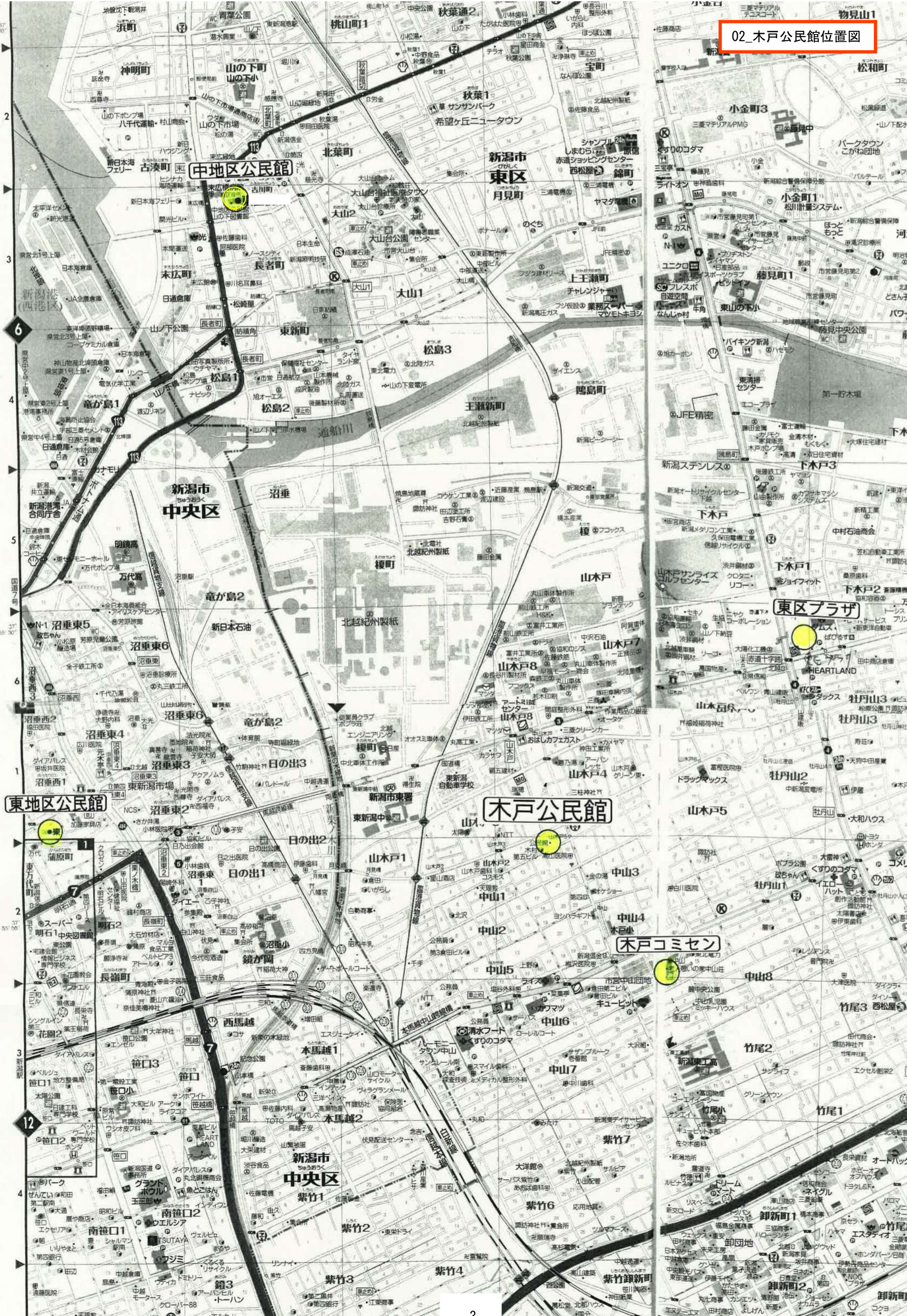
分館名	木戸公民館（新潟市東区山木戸2丁目7-34）																
建物の形態	木造2階建て （延床面積 207.26㎡（1階 133.56㎡・2階 73.70㎡）敷地面積 323.00㎡）																
建物の管理者	石山地区公民館（管理業務は新潟市木戸地域コミュニティ協議会に委託）																
平成30年度 維持管理費	<table border="0"> <tr> <td>・電話料</td> <td>54,000円</td> <td>・電気料</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>・灯油</td> <td>40,000円</td> <td>・ガス代</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>・上下水道</td> <td>33,000円</td> <td>・業務委託料等</td> <td>2,174,000円</td> </tr> <tr> <td>・消防用設備点検</td> <td>24,000円</td> <td>維持管理費計</td> <td><u>2,475,000円</u></td> </tr> </table>	・電話料	54,000円	・電気料	100,000円	・灯油	40,000円	・ガス代	50,000円	・上下水道	33,000円	・業務委託料等	2,174,000円	・消防用設備点検	24,000円	維持管理費計	<u>2,475,000円</u>
・電話料	54,000円	・電気料	100,000円														
・灯油	40,000円	・ガス代	50,000円														
・上下水道	33,000円	・業務委託料等	2,174,000円														
・消防用設備点検	24,000円	維持管理費計	<u>2,475,000円</u>														
予約方法	ネット予約 可・ <input type="checkbox"/> 不可 不可の場合予約方法 木戸公民館の管理人に利用申請書を提出し予約する(電話で仮予約も可能)。																
使用料の収納方法	予約を受けて、石山地区公民館が納付書を発行し、木戸公民館に届けておく。 利用者は木戸公民館で納付書を受け取り、利用する前に銀行窓口で納付する。																
鍵の受け渡し者と 受け渡し方法	<table border="0"> <tr> <td>平日日中</td> <td rowspan="3">} 管理人（木戸地域コミ協）</td> </tr> <tr> <td>平日夜間</td> </tr> <tr> <td>土日</td> </tr> </table> 管理人が利用料金の納入を領収書で確認し、部屋の鍵を渡す。	平日日中	} 管理人（木戸地域コミ協）	平日夜間	土日												
平日日中	} 管理人（木戸地域コミ協）																
平日夜間																	
土日																	
管理人の雇用者	新潟市木戸地域コミュニティ協議会																
管理人の勤務形態	【勤務時間】 月～土：午前8時30分～午後9時45分 日 曜：午前8時30分～午後5時45分 祝 日：閉館 【勤務体制】 管理人は4人おり、交替で1人が勤務する。月～金曜は午前を必ず勤務。午後・夜間は利用予約がある場合に勤務。土・日曜は、午前・午後・夜間を問わず、利用予約がある時間区分のみ勤務する。																
平成30年度 管理人業務委託料	委託先：新潟市木戸地域コミュニティ協議会 管理業務委託料 2,149,356円																
その他	【経緯】 S48年3月：北越製紙が、「地域の環境改善と福祉の向上」を目的として山木戸地域に集会所を寄贈する旨の覚書を、山木戸自治連合協議会、新潟市と取り交わす。その後、集会所は新潟市に寄付し、公民館分館として管理していくことを決定。 S49年3月：実質的運営は山木戸自治連合協議会が行うことになり、「木戸公民館利用者の会」が地元の3自治会を含めた10団体で発足。 （以上、東地区公民館20年誌記事より）																

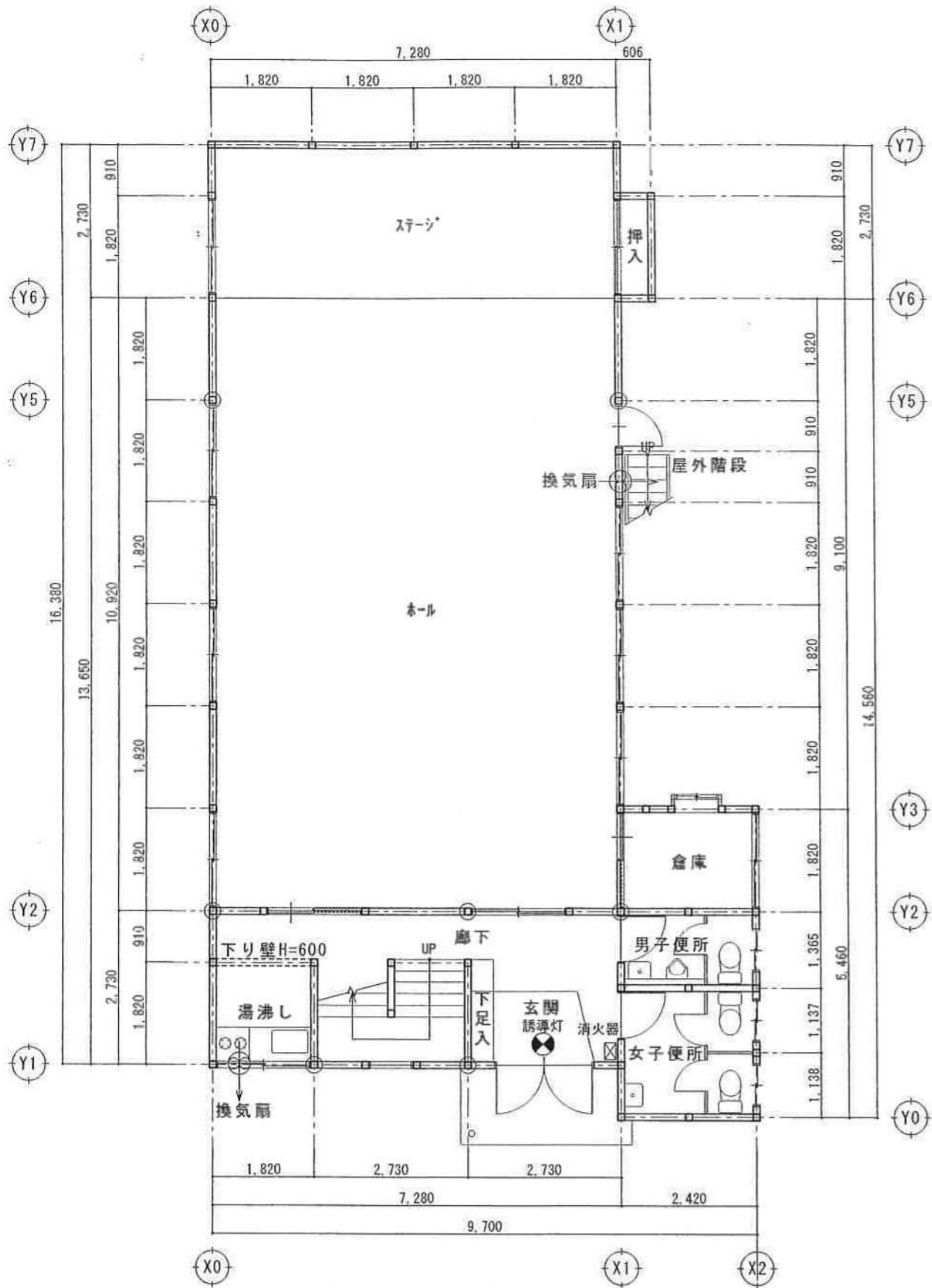
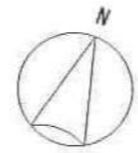
	<p>S49年5月：北越製紙が集会所を建設し、敷地とともに新潟市に寄贈。</p> <p>H8年4月：「木戸公民館利用団体連絡協議会」を実際の利用団体(当時23団体)で発足。文化祭も運営。</p> <p>H24年度：1階ホール部分のフローリング改修。</p> <p>H27年4月：利用団体の減少・会員の高齢化により同協議会解散。文化祭も廃止。</p> <p>H30年7月：6月に発生した大阪北部地震での人身事故を受けて、公共建築第1課によるブロック塀の緊急点検が実施され、敷地外周のブロック塀が危険度B(経過観察)と判定(控壁なし、亀裂の存在)。</p>
--	--

参考

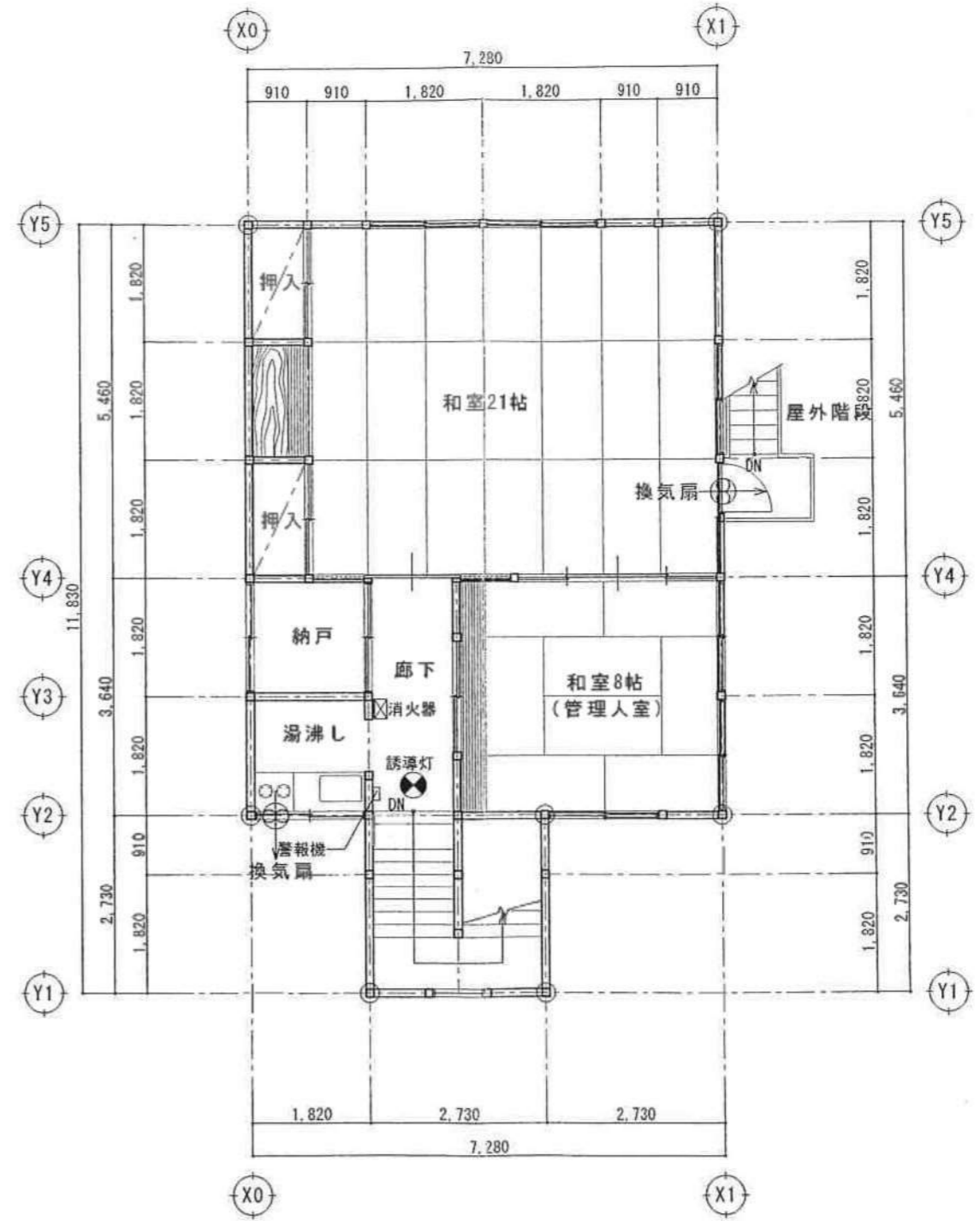
- ・平成31年度定期利用団体の登録団体数は8団体(H30年度：8団体)
- ・平成30年度不定期利用団体数は8団体(H31年度も同数程度の見込み)
- ・平成29年度稼働率(利用コマ数/全体コマ数)
 - ホール…14.1%(187/1325) ←H28：17.4%
 - 和室…10.4%(138/1325) ←H28：10.7%
 - 館全体…12.3%(325/2650) ←H28：14.0%
- ・平成30年度利用団体内訳
 - 定期利用団体…8団体(書道・ダンス×2・絵手紙・健康学習×2・高齢者学習×2)
 - ※1団体が免除団体(北沢自治会)
 - 不定期利用団体…8団体(自治会×5・社協・PTA・舞踊)
 - ※7団体が免除団体
- ・H30使用料決算見込み(H31.1末現在)83,300円

02_木戸公民館位置図





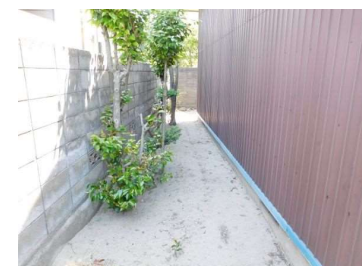
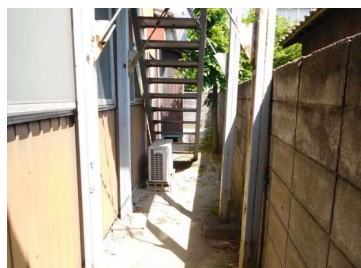
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

備考	変更マーク (年月日)	有限会社 像設計事務所 一級建築士事務所 新潟市東区下木戸1丁目7-18 TEL 271-7980 管理設計士 一級建築士登録第125084号 中村 優 崎	TITLE 木戸公民館		現況平面図		No.
	1 /		SCALE 1/100	HEAD	CHIEF	DRAFTING	
	2 /		DATE				
	3 /						4

外 観



1 階



1 階 続き



2 階



★施設利用料

【施設利用料金】

階	部屋名	定員	使用料				
			※同部屋を午後1・2をまとめて予約の場合は料金割引				
			午前 9:00～ 12:00	午後1 13:00～ 15:00	午後2 15:30～ 17:30	夜間 18:30～ 21:30	午後1・2 13:00～ 17:30
1階	ホール	70人	600円	500円	500円	600円	800円
2階	和室	40人	200円	200円	200円	200円	300円

★歳入・歳出

【歳入】

	H26	H27	H28	H29	H30
使用料	156,800	127,200	118,500	92,400	85,700
(利用件数)	348件	281件	262件	216件	174件

【歳出】

	H26	H27	H28	H29	H30
維持管理費	2,433,263	2,420,956	2,408,707	2,412,780	2,382,048
(維持管理費内訳)					
電話	51,919	51,167	51,707	51,655	46,949
灯油	51,958	35,542	24,710	32,809	25,984
上下水道	31,068	30,934	30,894	31,133	30,894
電気	82,759	89,827	85,956	84,734	93,246
ガス	44,203	42,130	44,084	41,093	35,619
業務委託料	2,171,356	2,171,356	2,171,356	2,171,356	2,149,356

2,433,263 2,420,956 2,408,707 2,412,780 2,382,048

【収支】

	H26	H27	H28	H29	H30
歳入－歳出	△ 2,276,463	△ 2,293,756	△ 2,290,207	△ 2,320,380	△ 2,296,348

★公民館主催事業

【公民館主催事業】

	H26	H27	H28	H29	H30
木戸っこクラブ 参加者数	48	32	49	24	62
文化祭	110	—	—	—	—

※文化祭はH26年度をもって廃止

★利用状況

【利用者数】

	H26	H27	H28	H29	H30
利用者数	4,369	3,841	3,039	3,062	2,787

【稼働率】

	H26	H27	H28	H29	H30
館全体 (稼働率内訳)	18.7%	15.5%	14.0%	12.3%	11.0%
1階ホール	23.2%	20.1%	17.4%	14.1%	16.3%
2階和室	14.1%	10.9%	10.6%	10.4%	5.7%

※稼働率 = 年間使用コマ数 ÷ 年間コマ数

【定期登録団体数】 ※ () 内は不定期登録団体数

	H26	H27	H28	H29	H30
団体数	14(14)	10(15)	9(7)	9(1)	8(5)

【H30利用団体内訳】 ※ () 内は団体数

定期利用団体

書道(1)・ダンス(2)・絵手紙(1)・高齢者関連(3)・自治会(1)

不定期利用団体

舞踊(1)社教(1)・自治会(3)

※定期・不定期13団体中5団体(自治会と社教)は免除団体